

〈解答〉

- ① 1 エ
2 ウ
3 長安
4 上皇：後鳥羽上皇 記号：ウ
5 〔例〕輸出額が輸入額を上回っており、横浜港を中心とし、主に生糸を輸出した。
6 地名：島原（漢字2字指定） 記号：D

配点 ① 2, 5は各2点, 他は各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 672年、天智天皇のあとつぎをめぐる戦いである壬申の乱がおこり、この戦いに勝利した天武天皇は、皇帝が国家を支配する唐にならい、天皇の力を高めることに努めた。アは239年、イは935年、ウは1334年のできごとである。
- 2 平安時代の初め、最澄と空海は遣唐使とともに唐にわたり、仏教を学んだ。そして帰国後、新しい宗派を始めた。最澄は比叡山（京都府・滋賀県）に延暦寺を建てて天台宗を、また空海は高野山（和歌山県）に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた。
- 3 平城京は唐の都、長安を手本につくられた。中央の北にある平城宮には、天皇が住む内裏と政治を行う役所が置かれ、各地から都に送られてきた産物を売買するために、東西の市も開かれた。聖武天皇は、仏教の力で国を守り、不安を取り除こうとして、都に東大寺を建て、地方には国ごとに国分寺と国分尼寺をつくった。
- 4 源氏の将軍が3代で絶えると、京都で院政を行っていた後鳥羽上皇は、1221年、幕府を倒そうとして兵を挙げた。しかし、北条氏に率いられた幕府の大軍に敗れ、隠岐（島根県）に流された。これを承久の乱という。乱後、幕府は、上皇方についた貴族や武士の荘園を取りあげ、そこに新たに地頭を置いた。また、京都には六波羅探題を置いて、朝廷を監視し、西日本の御家人を統制した。
- 5 資料1から輸入額との関係、中心となった輸出港が分かり、資料2から輸出品目に分かる。資料1より、輸出額が輸入額を上回っていることが分かるので、Iが輸出、IIが輸入である。
- 6 1637年、島原（長崎県）・天草（熊本県）のキリスト教徒の百姓など約3万7000人が、領主による無理な年貢の取り立てと、キリスト教に対する厳しい取り締まりに反対して一揆をおこし、島原半島の原城跡に立てこもった。幕府は約12万の大軍を送り、ようやく一揆をおさえた。これを島原・天草一揆という。その後、幕府は、人々を宗門改帳に記し、寺院に仏教徒であることを証明させ、キリスト教の禁止をいっそう強めた。